

スカウティングをもっと楽しく、もっと元気に！

ScoutingIB araki Vol.28

Jan.2006

スカウティング茨城

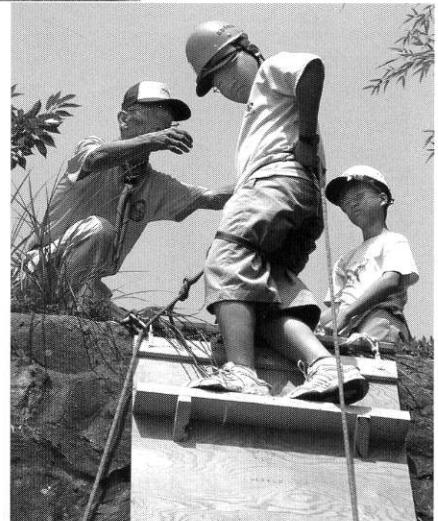


平成17年8月4日から8日まで、日立市もとやまキャンプ場を会場に、「Go Patrolling、仲間たちよ、未来は無限だ」をテーマに第16回茨城県キャンポリーを開催しました。

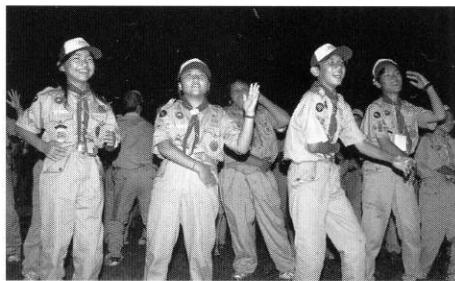
スカウト・リーダー約800人が参加、韓国ソウル南部連盟からの派遣隊も加わり、野営に、選択プログラムに有意義な5日間を過ごしました。

— 第16回茨城県キャンポリー閉幕 —

スカウトの夏は終わらない！ 4年後にまた会おう



厳粛なセレモニーと陽気なマカラナで幕を閉じた県キャンポリー。楽しい思い出を作り、スカウトたちは原隊へ。4年後の17ICで、また会おう！



ボーイスカウト運動の振興拡大を図る ボーイスカウト振興茨城議員連盟総会を開催



茨城県議会6月議会開会日の6月8日、県議会の大会議室で平成17年度のボーイスカウト振興茨城議員連盟総会が開催されました。

茨城県のボーイスカウト運動振興を目的に、昨年、会派を超えた県議会議員で結成された議員連盟は、山口武平会長をはじめ現在会員53名。県内の全スカウトがいつも携行している「日々の善行キーホルダー」は議員連盟からの寄付によるものです。

総会では、引き続きボーイスカウト運動の振興拡大をはかる事業を実施していくことが決議されました。

新体制が決まりました 平成17年度茨城県連盟年次総会

5月15日、茨城県青少年会館を会場に平成17年度の茨城県連盟年次総会を開催しました。

新年度の事業計画としてスローガン「よりよいスカウティングを、より多くの青少年に」などが承認されるとともに、役員が改選され、佐野新副連盟長、竹本俊一新理事長などの新体制が承認されました。



よりよいスカウティングを、より多くの青少年に ボーイスカウト茨城県連盟 理事長 竹本 俊一

平成17年度年次総会で佐野英樹理事長の後任としてあいさつを申し上げたとき、副理事長の時と違う責任の重さを感じ身の引き締まる思いがいたしました。この役務をお引き受けした上は、県連盟発展の為に真摯な姿勢で務めてまいります。

現在、茨城県連盟は登録人数が減少しています。この状況が続けば財政上厳しい状況になり、加盟員に対し充分なサービスも出来なくなり、県連盟の運営が成り立たなくなります。私はスカウト登録数を増やすには子どもたちの募集より、リーダーの養成が先ではないかと考えています。スカウト運動は社会的には知られていますが、参加を希望する方は少数です。またスカウト卒業生は多数おりますが、リーダーとして残る方は少数です。これを解決するには、今まで以上にスカウト運動を社会に認知して頂くしかありません。その第一歩が今年度のスローガン「よりよいスカウティングを、より多くの青少年に」と重点目標「日々の善行」の実践だと思います。この運動に参画することが誇りになり、活動が楽しめ、自分の人生にプラスになれば多くの方が参加してくれると思います。

ボーイスカウト運動の良き伝統は継承してゆかなければなりません。しかし、仲間内だけの価値観やしがらみに囚われては前には進めません。県連盟を発展させる為には今までの既成概念に縛られることなく、時には、変革の決断をしなければならない時があると思います。第一線の指導者が報われ、納得のいく運営をすることが私の役目だと考えております。みんなの力でスカウトもリーダーも夢を持てる県連にしてゆきましょう。「楽しくなければスカウティングではない」

このページは、県内のスカウトの活動を紹介するページです。自薦・他薦を問いません。皆さんの周りで活動するスカウトのニュースをお寄せください。

合同ヨット訓練に4地区スカウト43名が参加

5月21日・22日、4地区ボーイ隊恒例の合同ヨット訓練を、麻生ヨットクラブの全面協力を受け天王崎公園で、スカウト43名、指導者12名が参加して実施しました。ヨット5艇、救助用モーターボート1艇を使った帆装・操船訓練は、スカウトたちの真剣なまなざしと、『沈』を期待する指導者の顔が印象に残った2日間でした。(今年もやっぱり某隊のスカウトが1名『沈』。来年はどこの隊が・・・?)



8月21日、筑西市の県西生涯学習センターで行われた「子どもための遊び塾2005」で下館第3団とガールスカウト茨城県第28団が協力して、ボイスカウト・ガールスカウト1日体験を開催しました。

この日参加したのは小学生83人。低学年の参加者がゲーム、高学年は野外炊飯を体験した後、全員がホールに集まり、懐中電灯を使った營火で歌と寸劇を楽しみました。

下館第3団

小学生83人が1日スカウト体験

つくばエクスプレスが開業し、例年に増して盛大に開催された「まつりつくば」に、つくば地区の各団が参加しました。

8月27日の夕方、自動車の姿が消えたつくばのメインストリートで、「まつりつくば つくば大パレード」が始まりました。横断幕を持ったスカウトたちが先頭を進み、その後につくば第1団とつくば第2団のビーバースカウトからベンチャースカウトが隊旗を先頭にリーダーと一緒に歩きました。大パレードに参加した各団体の先頭には、団体名が書かれたプラカードを持ったスカウトが緊張した面持ちで進みました。

夜の部には、つくば第3団カブスカウトとビーバースカウトが『こねぶた』を引いて進み、沿道からの注目を浴びていました。夏休みの最後を地域の祭りに参加したスカウトたち一人ひとりの顔からは、この一年の成長の様子が感じられました。

ひまわりフェスタでうどん販売 那珂第3団

8月27日に那珂総合運動公園で実施された那珂市のひまわりフェスタ。今年は旧那珂町と旧瓜連町が合併して新しく那珂市となり、これまで最も盛り上がりいました。

ガールスカウトと合同で参加した那珂3団は、冷やしうどんの販売を行い、併せて育成会がバザー、ベンチャー・ローバー隊はパフェの販売も行いました。スカウトたちはそれぞれのイベントに参加し、楽しい時を過ごしました。

「まつりつくば」に つくばの各団が参加!



スーパー・カブにチャレンジして 守谷第一団カブ隊 太田 美里

カブ隊ですごす最後の8月。私のブックは14個の課題が残っていました。ウサギの時は難しい漢字やたくさんの課題で、どう進めていったらいいかわかりませんでした。でも、習っていたスイミングから「水泳選手」が取れたり、一つひとつサインが進み記章も増えていきました。そして今年の夏、同じ学校の友達が「一緒にスーパー・カブをとろう」と誘ってくれました。私はすぐ「やろう」と決めました。

これまで魚拓をとるためにお父さんに船に乗せてもらったり、いろいろ協力してもらいましたが、残り14個をクリアするために家族が力を貸してくれました。思い出せば、ブックには、隊活動で行ったスキー・スケート・キャンプにサイクリングでクリアできたものもありました。スーパー・カブを取るために、自分でがんばったのもあったけど、家族などに協力してもらってとれたんだと思っています。スーパー・カブが取れてよかったです。



スーパー・カブになったきっかけ 守谷第一団カブ隊 吉田 昇太

ぼくが、スーパー・カブになったきっかけは競い合う人がいたからです。はじめはなんとなく月に2、3個ぐらいしかとっていなかったけど、シカになつたらおかあさんからスーパー・カブの話を聞いてやる気がでてやるようになつたときチャレンジ章が同じくらいで、僕も負けないぞと沢山とりました。その子と競いあってるあいだに半分以上終わりました。クマなっても時間を見つけてチャレンジをやっていました。

そしてとうとう最後の一つは、魚拓でした、実は前におじいちゃんと、つりに行って魚を釣ったことは有るけどその時はせっかくつった魚に墨をぬるのがかわいそうだったのでしばらく飼っているうちに死んでしまいました。それなのでもう一度つりに行ってあゆを釣って魚拓をとりました。その後お焼きにしておじいちゃんに食べてもらいました。おじいちゃんもおいしいと言ってくれました。こうして僕はスーパー・カブになりました。

めざせ!スーパー・カブ!!

日立第6団カブ隊 高谷 信幸



スカウティングIBに 君の団のニュースを

スカウティング茨城は、皆さんと共に作っていきたいと考えています。県内のスカウトの活動ができる限り広く、多く紹介していきます。皆さんの活動を広報スタッフに知らせください。

情報は県連事務局まで



ぼくは、うさぎ、しかでチャレンジ章を少しづつやっていました。そして、くま3組組長になった時、「組長だから、チャレンジ章をがんばるぞ」と、心に決めて、チャレンジ章をやっていきました。スカウティングで楽しく取った、チャレンジ章。がんばって調べて取った、チャレンジ章。そして、くまの終わりの8月夏季キャンプの時には、国際だけになりました。そのことを隊長や副長に話したら「日立第6団初代スーパー・カブになれるぞ」と言われ、とてもうれしかったです。

一番むずかしかった、世界ジャンボリーを第1回から今までのを調べることです。初めてインターネットで調べました。チャレンジ章を全部取れたのも、リーダーがスカウト活動の中で、たくさん教えてくれたからです。また、お父さんとお母さんが協力してくれたおかげでできました。

いよいよ、ボーイ隊に上進します。ボーイ隊になると、上級班長と言うものがあると聞きました。今度は、さらにチャレンジして、きく章の上級班長めざして、活動したいです。

編集後記

スカウティング茨城28号はいかがですか。前号の発行から1年近く経過してしまいました。昨年は、4年に1度の県キャンポリーの年でした。期間中のキャンポリーニュースは写真を中心に編集しましたが、この号の表紙はそのときの写真を使っています。

スカウティング茨城 Vol.28

発行：日本ボーイスカウト茨城県連盟

〒310-0034 茨城県水戸市緑町1-1-18

茨城県青少年会館内

Tel.029-226-8482 Fax.029-224-3773

E-mail bsibarak@lilak.ocn.jp